

第5回地域連携医療機関対象 エコーハンズオンセミナー（血管編）報告

3月3日(日)に地域連携医療機関を対象とした頸動脈エコーのハンズオンセミナーを開催しました。このハンズオンセミナーは、エコー検査の普及による地域医療の質の向上を目的としており、「気軽にエコー検査を学べる場」をコンセプトに当院臨床検査科の技師が企画、運営を行っています。今回は、最近メディアで取り上げられることが多くなってきた「動脈硬化」の評価法の一つである「頸動脈エコー」をテーマにしたところ、過去最多の医師5名・技師5名、計10名もの先生方にお集まり頂きました。

ミニレクチャーでは、「意外と簡単!? 頸動脈エコー検査」と題し、頸動脈エコー検査の基本的な走査方法やチェックポイントに関して講義しました。また、当院で実際に行った検査画像の提示し、注意すべき症例を動画にて多数紹介しました。



(ミニレクチャーの風景)

ハンズオンではミニレクチャーで紹介した頸動脈エコーの基本的な走査法を実演、講習しました。普段、頸動脈エコーを実施されていない先生も複数いらっしゃいましたが、我々、臨床検査技師が描出のコツを具体的に解説することで、全員が目的とした画像を描出できるようになりました。ハンズオン中にはちょっとしたポイントやマメ知識も適宜紹介し、実際プローブを握ってハンズオンをされている時間だけではなく、順番待ちで見学をされている時間も有意義に過ごすことができたのではないかと考えております。頸動脈エコーは動脈硬化の進行度が評価できる有用な検査であり、今後の日常診療に役立てて頂ければ幸いです。



(ハンズオンの風景)

本セミナーはこれで5回目となりましたが、リピーターの受講者もおられ、うれしく思うと同時に気軽に参加できるこのセミナーの有用性を再確認できました。今後とも継続し、微力ながら地域医療に貢献していければと思っております。

臨床検査科 戸島 望